

大乘持経寺報

令和5年 9月号
第9号

住職指導

「長月」の時節を迎えました。今月は台風が多く襲来し、一年で一番雨量が多い月と言われています。

また残暑も厳しいですが、それでも少し気温が下がることから、夏の疲れが出て、だるく感じられます。こんな季節には、睡眠と栄養をたくさん取って、体調の維持に努めましょう。

そして信心においては、自行の勤行、唱題と化他行の折伏に頑張りましょう。何事も前向きに取り組む人は、自ずと心の中から元気が湧いてきます。その元気は周りの人をも元気にします。その様な人に御本尊様のことを語ってもらえれば、皆さん話を聞いてくれます。

今年支部折伏目標は「一人が一人の折伏をして」その方を本山にお連れすることです。支部では9月30日(土)に第3回目の「慶祝記念総登山」が実施されます。皆さん折伏された方と共に参加できますように頑張りましょう。

また今月の23日(土)・24日(日)に恒例の秋季彼岸会を奉修いたします。御家族お揃いで寺院に御参詣賜りますようお願いしております。御塔婆を建立される方は、早めのお申込みをお願いします。

今月も講中異体同心して、唱題根本で大前進をして参りましょう。皆様の御健康を御祈り致します。

『今月の決意』 持経寺在勤 清野明 倶

9月となり、早くも半年が過ぎようとしています。

世間では「光陰矢の如し」と言う諺があるように、時間が過ぎるのは早いものです。その諺を自分に当てはめて考えてみると、多くの時間を無駄に費やしていると感じます。過ぎてしまった時間は取り返せないで、いかに時間を有効活用するかです。ベンジャミン・フランクリンに「今日出来ることを、明日に残すな。」と言う言葉があります。この言葉を見た時に、今の自分にとって必要な言葉だと痛感しました。お塔婆やお寺の掃除など、自分に課せられている修行はたくさんありますが、後回しにしていました。これよりは、意識を入れ替えて、精一杯御奉公させていただきます。

『役員挨拶』 折伏推進・庶務部長 矢尾 聡史

昨年の九月より、折伏推進・庶務部長を拝命しております、矢尾と申します。

もとより浅学非才・徳薄垢重の若輩者ではございますが、天野御住職様の御指導のもと、持経寺支部の発展、及び講中の皆さまの日々の信心活動における一助となれますよう、精一杯精進させていただきますので、ご理解ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、当支部は、御住職様の掲げられる『明るく、元気で、楽しい持経寺支部』の標語のもと、一昨年の十一月より新たなスタートを切りました。

御住職様の明るくユーモアに富んだお人柄や講員の皆さまお一人お一人への温かいお心配りにより、以前と比べて支部全体がはるかに『明るく、元気で、楽しい』雰囲気になってきたと、私を含め、多くの方が実感されているのではないのでしょうか。



ただ、残念なことに、そうした中であっても、ややもすると同志間でお互いの悪口を言ったり、軽蔑したり、時には恨んだり、嫉妬したりという事がまだ往々として存在するのも事実です。

御住職様は常々、講中の皆さまお一人お一人の幸せを第一にお考えになり、御祈念して下さっております。

しかし一方で、こうした同志誹謗の心があれば、せっかくの日々の信心活動にて積まれた功德を失ってしまうばかりか、より罪障を積んでしまうこととなり、幸せなど到底得られなくなってしまいます。

私は一役員として、こうした誹謗を誰よりも誠め、『明るく、元気で、楽しい持経寺支部』を実現すべく、天野御住職様の御指導のもと、本当の意味で僧俗一致・異体同心できる講中の雰囲気づくりに全力を傾注して参る事をお誓いし、役員挨拶・決意と代えさせていただきます。

『第2回慶祝記念総登山に参加して』 婦人部 牛塚 明美

御住職様の引率のもと、総本山第67世日顯上人様、持経寺初代阿部御住職、持経寺の合葬墓の墓参に参加致しました。素晴らしい御登山に参加できて良い記念になりました。まだ未入信の親類縁者が多くいるので、折伏して、皆で御登山したいと思いました。

昭和47年に父が54歳で亡くなり、はや50回忌が過ぎました。父が健在の頃「本門の本尊、本門の戒壇、本門の題目の三大秘法より離れて、いくら修行しても、成仏はできない。」と良く言っておりました。母は信心の話を兄弟、姉妹、叔母に話をして、折伏をしていました。

そんな両親の信心を見てきた私は、何が有っても総本山と寺院を中心に生涯にわたって信心しようと決意しています。これからも淡々と唱題根本で折伏と御先祖皆さんの供養の為に頑張っていきたいと思います。

『婦人部座談会に参加して』 副婦人部長 飯田 教子

今回のテーマは【唱題について】でした。

唱題の際いつも気持ちをクリアにして真剣な題目をと思いながらも、様々な思いや考えが駆け巡ったり、足腰が痛いなぁと感じたりと雑念が多く湧いてきます。

御住職様から蓮の花が咲いたと吉報を伺った際は「バラが咲いた」の替歌で「蓮が咲いた♪蓮が咲いた♪〜〜〜寂しかった私の庭が明るくなった♪」と何度もリピートしたり…の有様ですが、唱題行の功德の凄さは幾度となく体験して参りました。

また参加された皆様の素晴らしい体験談も共有でき、ありがたく励みになりました。

これからも色々雑念が湧いたとしても、自行化他の唱題に精進して参ります。

『婦人部座談会に参加して』 婦人部 岸本 友起子

唱題行をテーマに学び、日頃、勤行や唱題をしているが、その意味や注意する事に勉強になりました。日頃耳の聞こえない私達にもお寺の皆様にサポートいただき、信心邁進出来る事に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願い致します。

『盂蘭盆会に参詣して』 副少年部長 矢尾 美咲

8月15日(火)の盂蘭盆会には、両親と未入信の兄一家と家族揃って参詣させて頂くことができました。兄家族は、まだ未入信なので、時々皆と法要や行事に参詣させて頂いています。お寺に縁をたくさんして、抵抗感を無くして、自然な形で入信できればと思っています。

これからも夫婦で力を合わせて精進します。

『神奈川地方部青年部会に参加して』 女子部 知留間 那由多

いざ始まった時、私は驚きました。「信心は素晴らしい」と言う同調圧力が一切無い事に加え、お寺で自分の率直な意見を話す経験が今までに無かったからです。

懐かしい友人も数人見当たりましたが、やはり名前しか知らぬ様な方がたくさんおり、私も口が上手い方では無いので言葉に詰まる事が多々ありました。それでも、息がしやすかったと感じます。

また来年開催された暁には、もう少し胸を張って話せたら幸いです。